

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				簡易点検
事務事業名		戦傷病者・戦没者遺族等援護				A 一般事務事業
担当部署名		健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援
		課 評価責任者(課長名)				羽野
		シート番号				11-005

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市遺族会運営補助金交付要綱、堺原爆被害者の会運営補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>・昭和22年戦没者の慰霊、遺族の福祉の増進、平和希求を目的とし、同年5月に堺市遺族会が設立された。また、昭和40年に核兵器の廃絶の活動を広げるために堺原爆被害者の会が設立された。</p> <p>・先の大戦による戦没者並びに戦災物故者を慰霊し、遺族及び戦傷病者の福祉の増進を図るとともに、平和の尊さを広く伝え、恒久平和への誓いを新たにすため、堺市では昭和39年から毎年戦没者追悼式を実施している。平成28年度からは追悼平和祈念式典として実施。</p> <p>・先の大戦で公務等のため国に殉じた軍人等の遺族に対し、各支給法に基づき特別弔慰金・各種給付金を記名国債により支給している。平成27年4月から平成30年4月まで第10回特別弔慰金実施。令和2年4月から令和5年4月まで第11回特別弔慰金実施予定。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	堺市戦没者遺族、堺市傷痍軍人及びその家族、原爆被害者、その他市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念するとともに、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進を図る。また、平和の尊さを広く伝え、恒久平和への誓いを新たにしていく。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体への支援(堺市遺族会、堺原爆被害者の会) ・堺市戦没者・戦災物故者追悼平和祈念式典の開催(令和元年10月24日 ソフィア・堺(予定)) ・戦傷病者戦没者遺族等援護法に係る業務(戦没者等の遺族に対する特別弔慰金等の受付、府への経由、国債の受け渡し業務等) ・慰霊碑の管理(平和塔の清掃業務、関西大風水害殉難者慰霊碑の敷地内植木剪定業務等) 			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 堺市遺族会、堺原爆被害者の会、公益社団法人堺市シルバー人材センター等				

Ⅲ. 投入量

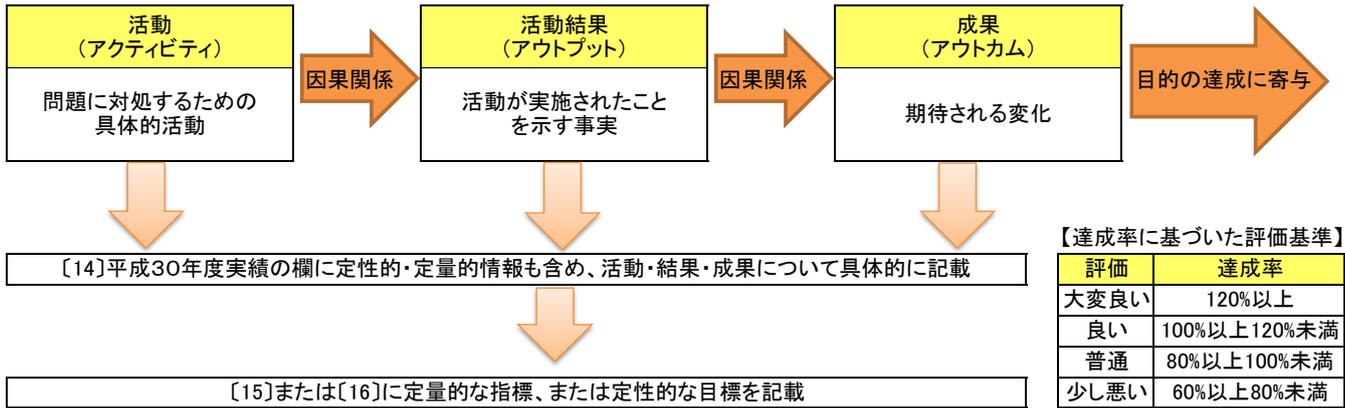
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費(a)	千円	14,851	13,969	3,952	3,476	
主な事業費内訳	戦没者・戦災物故者追悼式	千円	2,985	2,608	1,692	1,802
	補助金	千円	1,160	1,160	1,290	1,290
	特別弔慰金	千円	10,706	10,201		
	その他	千円			970	384
	国・府支出金	千円	516	541	500	500
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
12 人件費(b)	千円	12,470	12,470	12,470	12,320	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	27,321	26,439	16,422	15,796	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	戦傷病者・戦没者遺族等援護	シート番号	11-005
-------	---------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
活動実績と成果	14		<p>○戦没者・戦災物故者追悼平和祈念式典については、下記のとおり実施し、戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成30年10月18日 ・場所：ソフィア・堺(中文化会館) ・参加者：約200名 <p>○上記の開催に当たっては、各世代がともに平和の大切さを祈念する式典とするため、平成29年度より、市内在住・在学の小学生、中学生を対象に平和へのメッセージを募集している。平成30年度は前年度の65点から10倍以上となる883点の応募があった。</p> <p>○戦没者等の遺族に対する特別給付金の国債配布については、各区役所や大阪府との密な連絡調整や複数名によるチェック作業の徹底により、配布漏れ件数を0件とすることができた。</p>			
	15	目標				
		<p>戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念するとともに、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進を図る。また、平和の尊さを広く伝え、恒久平和への誓いを新たにしていく。</p>				
		目標に対する実績	上記のとおり。			
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
		評価				
	算出方法・設定根拠など					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>平和へのメッセージの取組がより浸透した結果、応募件数が前年度の10倍以上となったことから、本事業が各世代がともに平和の大切さを考えるきっかけとなっていることが伺える。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。